

兵庫医科大学 研究実施のお知らせ

本学で実施しております以下の研究についてお知らせ致します。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	低アルブミン血症が遊離型テイコプラニン濃度に及ぼす影響について [倫理審査受付番号：第 4664 号]
研究責任者氏名	木村 健
研究機関長名	兵庫医科大学長 鈴木 敬一郎
研究期間	2024 年 4 月 19 日 ~ 2026 年 12 月 31 日
研究の対象	兵庫医科大学病院において、2018 年 6 月 1 日から 2023 年 12 月 31 日までの間にメチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症またはその疑いのために、テイコプラニンの投与をうけ、テイコプラニンの血中濃度モニタリング (TDM) を行った 18 歳以上の患者さんを研究対象とします。
研究に用いる 試料・情報の種類	カルテ情報 取得の方法：診療の過程で取得
研究目的・意義	テイコプラニンは薬剤耐性菌に対して頻用される抗菌薬です。有効かつ安全な治療を行うために、テイコプラニンの血液中の濃度（血中濃度）の測定が必要です。測定するテイコプラニンの血中濃度は、血液中に存在するアルブミンというタンパク質と結合しているテイコプラニン（結合型）と、アルブミンと結合していないテイコプラニン（遊離型）の総和です。しかし、体の中でテイコプラニンが実際に効果を示すのは遊離型テイコプラニンで、アルブミンが低い患者さんにおいて治療に必要な遊離型テイコプラニン濃度が得られるのかについて十分に分かりません。 本研究では、過去の報告をもとにテイコプラニンの血中濃度と血液中に存在するアルブミンの濃度から遊離型テイコプラニン濃度を推算したうえで、アルブミンが低い患者さんにおいて治療に必要な遊離型テイコプラニン濃度が得られるのかについて検討します。本研究により、アルブミンが低い患者さんにおける適切な遊離型テイコプラニン濃度に到達するための投与方法の開発ひいては、より有効な治療につながると思います。

<p>研究の方法</p>	<p>上記目的を達成するために、過去のカルテ情報を調査し、統計学的な解析を行います。カルテから、テイコプラニンの使用量、年齢、性別、体重、身長、血清アルブミン値、推算糸球体ろ過量、テイコプラニン TDM の結果、ICU 滞在歴、手術歴、高カロリー輸液使用の有無について情報を収集します。</p>
<p>個人情報の取扱い</p>	<p>収集したデータは、誰のデータが分からないように加工した上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。</p>
<p>本研究に関する連絡先</p>	<p>兵庫医科大学病院 薬剤部 担当者氏名：部長 木村 健 薬剤師 徳谷 晃 [電話] (平日 9~16 時) 0798 - 45 - 6189</p>